（1）導入機能について

★この考え方は、あくまで案であり、今後、十分な検討を要するものです。（必ずしもこういった施設ができるとは限りません。）

1　導入機能の考え方

社会情勢、行政課題、市民ニーズ等から、①「喫緊の必要性」、②「立地の必然性」、③「複合化・集約化による有効性」の観点で導入機能を検討し、
[1]子ども・子育て、[2]市民活動を支援する機能を中心に導入することとします。

2　導入機能イメージ

鎌倉市の将来、市民自治の
未来を担う次世代を、
市と市民が力を合わせて
共に育てていく

[1]子ども・子育て

①「喫緊の必要性」

- 喫緊の保育待機児童対策
  ⇒子育ての「量」の拡充
- 子育て支援の充実
- 育児家庭支援の充実
  ⇒「支援」の拡充

②「立地の必然性」

- 「交通結節点」という立地特性を最大限に活用
  （地域を超えた全市的な視点に立った利用が可能）
  ⇒全市的な課題への対応

③「複合化・集約化の有効性」

- 子ども・子育て支援サービスの利便性向上

例えば・・・
一時預かりを含む保育、病児・病後児保育、子育て支援施設，教育支援施設　など

[2]市民活動

①「喫緊の必要性」

- 市民活動の場の拡充
- 市民力・地域力の活用
  ⇒「市民活動」の拡充
- 市民活動への多世代の参加
  ⇒「担い手」の育成

②「立地の必然性」

- 「交通結節点」大船駅近傍の立地特性の活用
  （市内在住・在勤者など広域的な利用が可能）
  ⇒広域的な利用に対応

③「集約化による有効性」

- 市民活動の集約化による支援体制の強化

例えば・・・
市民活動センター など
（子ども・子育て支援、福祉、環境、まちづくり団体　等）

③「複合化による有効性」

- 市民活動とのマッチングによる多世代・地域交流、自然体験等
  ⇒子育ての「質」の向上
- 市民活動への子育て世代の参加
  ⇒「担い手」の育成

[補完]交流機能

～　だれもが活動できるオープンなスペース　～

例えば・・・
広場的空間、交流スペース　など

③「複合化による有効性」

- 子育て世代の社会参加の支援
- 情報交換の場の創出
  ⇒「支援」の拡充

③「複合化による有効性」

- 市民・市民活動団体の相互交流の創出
- 新たな市民活動の機会の創出
  ⇒「市民活動」の拡充